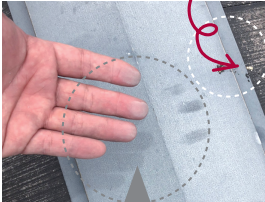


てっぺんは自分で 見れへん…屋ん根

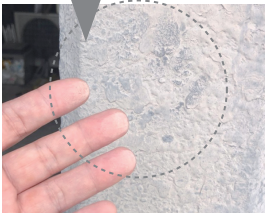


アンテナのもらい錆び

釘の浮きがあちこちに



※チヨキング現象
塗装表面を触ると指に塗装の粉片が手につくぐらい塗膜が剥がれ落ちている現象で、紫外線や風雨から建物を守る機能が劣ってきていることがわかります。



妙見桜並木通り
(株)さくらの坂東です。
交野市在住のK様から「外壁屋根の塗装をそろそろやりたいが、まずはみてほしい」とのご依頼で、今回の新聞はどんな風に点検するのかをご紹介します。
1階コンクリート造のガレージ。2・3階が木造の戸建て、築18年のおうちです。3階の屋根へ梯子をセットし、塗装職人さんと点検開始。屋根にあがると南側だけ太陽光パネルが載っています。
鳥の糞がたくさんありアンテナを止まり木にしていますね。「もらい錆」といって写真のように棟板金に錆がついています。ケーブルTVをご覧のようなので使っていないアンテナは取り外した方が良いでしょう。棟板金全体に※チヨキング現象がみられ、飛び出している釘も発見。浮いてしまつと雨が入り込むので、打ち直して釘頭をコーキングすれば大丈夫です。



住宅アドバイザー 坂東

お家
困った
なあった
新聞

2022.7.21 発行
第70号

外壁を点検。南側の壁は風雨と直射日光にまともにも晒され、こちら側だけ特に傷みが激しくヒビも多いです。表面は瓦の反りがみられ、一部割れていました。
スレート瓦は屋根全体に経年劣化で色あせが進み、コケやカビも発生しています。



瓦の反りがみられ、一部割れていました。

大きなヒビ割れはコーキング補修の跡がありました。



大きなヒビ割れはコーキング補修の跡がありました。

全体に※チヨキング現象があり白く粉が剥がれます。これは経年劣化だけでなく塗料自体の耐候性も影響します。

古いシーリングも剥がしてUカットし新しくシーリングをやり直します。



この点検用の打診棒は、壁面を転がしたり、軽く叩いて「コント」の音を聞きわけています。浮いていると高い音がして、詰まっていると低い音になります。素材自体の強度や粘度が違うので見えた目は同じでも壁の中の状態を知ることができます。



コンクリートの壁を打診棒で叩くと部位によって音が違います。これでタイル面を一枚ずつ叩いてタイルの浮きを確認することもできます。



室内も見せてもらつと、天井や窓枠に雨漏れ跡や染みがあり、震災後、雨の降り方によっては何回か漏れて困つたそうです。

さくらでは点検後、撮影した画像と点検箇所の結果をまとめて診断書を作成し、後日あらためて説明に伺っています。
K様から「なかなか自分では見れない屋根、不安やな」と思いつつ暮らしてきたけれど、今回点検してもらつたことで現状の把握がちゃんとできたと、どういふ風に直していいか?という相談にもつてもらえたのでよかつた。和室に雨漏りも時々あったので、壁の中が腐つたらいややな」と思つてたけど、まだそこまでは浸透してないだろうと教えてくれたんで返つて安心できた」とのことでした。雨のたびに「不安だつたんだなあと、つくづく心情をお察します。まずは現場調査、そして備えあれば憂いなし。お気軽にご相談ください。



この診断書を見てもらいながら詳細の説明をさせていただきます。

8/20-21の土日は『夏の相談会』
ご相談お見積りは無料です。
お気軽にお越しください!

『困ったなあった新聞』
のバックナンバーは
こちらからどうぞ!

●本店：交野市星田2丁目25-1
☎072-891-4501
●青山店：交野市青山3丁目2-19
☎072-845-4580